

みずほCustomer Desk Report 2019/04/15 号(As of 2019/04/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.81 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.65	1.1260	125.72	1.3053	0.7121
SYD-NY High	112.09	1.1324	126.76	1.3132	0.7192
SYD-NY Low	111.59	1.1253	125.67	1.3051	0.7116
NY 5:00 PM	112.02	1.1300	126.55	1.3070	0.7173
NY DOW	26,412.30	269.25	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,984.16	36.80	日本10年債	-0.0600	0.00bp
S&P	2,907.41	19.09	米国2年債	2.3924	3.53bp
日経平均	21,870.56	159.18	米国5年債	2.3760	6.27bp
TOPIX	1,605.40	▲ 1.12	米国10年債	2.5606	6.27bp
シカゴ日経先物	22,070	345	独10年債	0.0550	6.60bp
ロンドンFT	7,437.06	19.11	英10年債	1.2110	6.30bp
DAX	11,999.93	64.73	豪10年債	1.8835	2.60bp
ハンセン指数	29,909.76	70.31	USDJPY 1M Vol	4.74	0.09%
上海総合	3,188.63	▲ 1.34	USDJPY 3M Vol	5.41	0.06%
NY金	1,295.20	1.90	USDJPY 6M Vol	5.98	▲0.03%
WTI	63.89	0.31	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	188.36	1.04	EURJPY 3M Vol	6.05	▲0.03%
ドルインデックス	96.97	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	6.69	▲0.01%

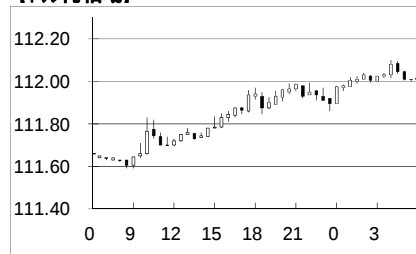
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月12日	15:30	中 貿易収支	3月 \$32.65b	\$5.70b
	15:30	中 輸出/輸入(前年比)	3月 14.2%/-7.6%	6.5%/0.2%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 -0.2%	-0.5%
	21:45	欧 プラートECB専務理事 講演	「必要なら一段の刺激策を行う可能性」	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 96.9	98.2

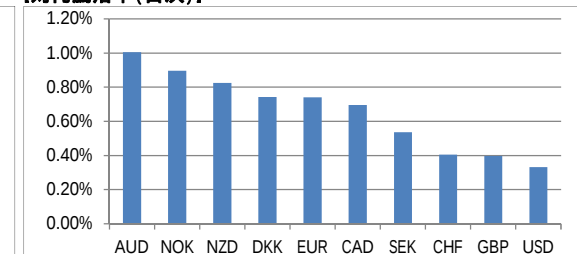
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月15日	09:00	日 中曽日銀副総裁 講演	-	-
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	4月 8.0	3.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-112.30	1.1270-1.1350	125.50-127.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル円は底堅く推移。前日に発表された3月FOMC議事録にて改めてFEDのハト派スタンスが確認されたことに加え、この日のアジア時間に発表された中国の貿易統計にて同国の貿易黒字が大幅に市場予想を上回ったことから、リスクセンチメントが改善。株式市場、米金利が上昇する動きにドル円相場も連れ高となる展開。本日のドル円相場は上値の重い展開を予想する。先週末も112円を越える水準では上値の重さが確認されたことに加え、米ムニューシン財務長官が15日から始まる日米貿易協定交渉にて、為替を議題とし、為替条項を含める要求をすることを示唆したことも、ドル円の下押し材料となるだろう。

東京	東京時間のドル円は111.65レベルでオープン。前日海外時間の良好な米経済指標の結果を受けたドル買いの流れを引き継ぎ底堅い推移となる中、目立った新規材料の無いワイングでユーロ円が125円台後半から126円台まで急伸するとドル円も一段高となり一時111.83まで上昇。約1ヶ月ぶりとなる高水準まで上昇したことに加え、翌週に控える日米通商協議に対する警戒感も意識される中、値を下げる局面も見られたものの、午後に入り再び上昇。東京時間高値となる111.85をつけた後、111.83レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.83レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ、オープンから底堅い推移に。米中貿易戦争の影響で縮小し続けていた中国貿易収支が、予想を大幅に上回り、投資家のリスク選好姿勢が強ったことから、111.99まで上昇。しかしながら、節目となる112.00は突破できずに111.99レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.3064レベルでオープン。10日の緊急EUサミットで英国のEU離脱の延期が決定され、この日も堅調な推移。新規材料に欠けるなか、午前は小幅に値を切り上げ、1.31台前半まで買われる。その後、上昇幅を縮小し結局1.3090でNYへ渡った。(ロンドン・ロンドン 00531 444 179 マルセル)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.99レベルでオープン。朝方は、米紙が米中通商協議で、中国側が輸出を促進するために通貨操作をした場合のペナルティを科すことなどを盛り込んだ将来的な協定に暫定的に合意と報じるが、ドル円の反応は限定的となる。10時に発表された4月ミシガン大学消費者信頼感指数は予想を上回ったものの、1年後、5～10年後のインフレ期待が前回から低下し111.86まで下押しする。その後は関係筋の話として、「EUが米製品102億ユーロ相当への関税措置を検討」とのヘッドラインが伝わったことから、海外市場で売られていたドルが買い戻される展開に、ドル円は112.02まで上昇する。午後は、麻生財務相や、黒田日銀総裁のG20での発言が伝わるが、ドル円の反応は限定的となり、高値圏での推移が続く。週末を控え薄い市場の中、112.09まで上昇し、112.02レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1308レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1324まで上昇するが、ドラギ総裁の世界的な逆風が成長を抑制とのハト派な発言や、前述のEUが米製品へ関税を掛けるとの話もあり、その後はユーロ売りが強まり、1.1294まで反落する。午後は、週末を控え、狭いレンジが続き、1.1300レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・森谷